

日本バプテスト連盟加盟教会・伝道所の皆さま

主の御名を賛美いたします。いつもお祈りありがとうございます。私たちは、2023年3月31日を持ちまして、三期、8年半にわたるカンボジア派遣宣教師としての働きを終了しました。2015年3月のカンボジア派遣以来ずっと、全国諸教会の皆さま、そして女性連合の皆さまの篤い祈りと多くの献げものによって、私たちの現地での活動はもちろんのこと、生活と子どもたちの学校生活も守られてきました。今一度、心からの感謝の意をお伝えしたく思います。

今から8年前の3月25日、連盟職員の方々が羽田空港まで見送りに来てくださり、私たちは祈りと賛美によって押し出され、カンボジアの地に遣わされました。以来ずっと私たちは、CBU（カンボジアバプテスト連合）オフィス教会で仕えてきました。初めの頃は、カンボジア語がほとんどできず、毎日生活するだけで精一杯でした。語学の習得が思うようにいかず、悩んだこともありました。家や車のトラブルが続いた時もありました。しかし、皆さまの祈りによって、宣教の働きは少しずつ、確実に前進し、教会では特に、子どもへの伝道の働きが示されました。子どもから子どもへ福音を宣べ伝えるというビジョンが主から与えられました。

更に2年前、薫宣教師が肩を痛め、治療とリハビリのために約半年間、日本に滞在したことがありました。この期間、そしてその後も、お手紙やメールなど温かいお声を幾つも頂きました。祈りに覚えられている幸いを実感したひと時でした。この期間はコロナ危機の真ただ中でもあり、日本でもカンボジアでも、オンライン授業やロックダウンなど、非常に厳しい時でした。しかしコロナ危機の中でも私たちの生活は守られ、そして神様の宣教が留まることはありませんでした。これらは、皆さまのお祈りなくしては、決して実現しなかったことだと思えます。

全国諸教会の皆さま、そして女性連合の皆さま、8年間という長きにわたって私たちと家族をお支えくださり、本当に、ありがとうございます。これからの私たちの信仰の歩みを覚えて、お祈りいただければ幸いです。どうか皆さまに、主にある希望が、日々共にありますように。

嶋田和幸・嶋田薫